

声明

現在、天皇の病気が重篤にあるなかで、わが国の主権が国民に存することを宣言した日本国憲法に反して天皇が元首であるかのような諸措置を政府がしきりに取っていることは、まことに寒心に耐えない。

政府は新天皇即位の翌日に元号を改めるための準備も開始したという。一九七九年六月六日に元号法が成立したさい日本科学者会議は、天皇の即位をもつて紀年の区切りとすることは日本国憲法の定める国民主権の原理に反すること、元号の使用は国民の歴史意識をゆがめ、西暦との対比のうえでいちじるしい不便があるなど、の理由で歴史学関係等多数科学者団体、個人とともに同法案に反対し、政府および与党が多数国民の疑問にこたえることなく、同法を成立させたことに対し、遺憾の意を表し、抗議声明を発した。

今日の事態は、国民主権の原則が犯されていくことに対する当時の我々の憂慮が現実のものとなりつつあることを示している。我々はこのさい、天皇が元首であるかのような諸措置を政府が取らないよう要求する。また天皇を元首とした明治憲法の遺物であり、我々がその中で名譽ある地位を占めたいと思う国際社会においては通用しない「一世一元」制の元号は、このさいむしろ廃止することを主張する。

一九八八年九月二十五日